

『館林市史別巻-館林の寺社建築-』頒布

文化振興課市史編さんセンターでは、『館林市史別巻-館林の寺社建築-』を頒布いたします。

本市では、平成13年度から市史編さん事業を進め、現在は順次別巻を刊行しています（下記参照）。

本書は市内に残る歴史的な寺社建築について、3部構成でまとめたものです。

第1部では市内の歴史的な寺社建築の特徴をまとめました。第2部では寺社建築に付随する彫刻と天井画をまとめました。第3部では寺社建築に関する記録資料として棟札や古文書をまとめました。市内の主な寺院38寺のうち13寺と堂宇5堂、主な神社75社のうち57社を掲載しています。

本書は令和8年1月15日（木）より一般頒布します。概要は別紙のとおりです。



<参考>館林市史（全16巻）の刊行状況

刊行書名	内容予定
通史編 3巻 ※完了	◇1「館林の原始古代・中世」※既刊 ◇2「近世館林の歴史」※既刊 ◇3「館林の近代・現代」※既刊
特別編 7巻 ※完了	◇1「館林とツツジ」※既刊・在庫なし ◇2「絵図と地図にみる館林」※既刊・DVD版のみ ◇3「館林の自然と生きもの」※既刊 ◇4「館林城と中近世の遺跡」※既刊 ◇5「館林の民俗世界」※既刊 ◇6「館林の町並みと建造物」※既刊 ◇7「館林の文化と芸術」※既刊
資料編 6巻 ※完了	◇1原始古代「館林の遺跡と古代史」※既刊 ◇2中世「佐貫荘と戦国の館林」※既刊・在庫なし ◇3近世Ⅰ「館林の大名と藩政」※既刊・在庫なし ◇4近世Ⅱ「館林の城下町と村落」※既刊 ◇5近現代Ⅰ「近代館林の歩みと社会」※既刊 ◇6近現代Ⅱ「鉱毒事件と戦争の記録」※既刊
別巻 ※作成中	◇別巻 市制60周年記念写真集「写真で見る館林」※既刊 ◇別巻 普及版「館林の歴史」※既刊 教材版「ほんちゃんと学ぼう 館林の歴史」※既刊 ◇別巻「館林の寺社と史料」※既刊 ◇別巻「館林の里沼」※既刊 ◇別巻「館林の絵馬」（寺社の文化財Ⅰ）※既刊 ◇別巻 市制70周年記念事典「館林歴史人物事典」※既刊 ◇別巻 「館林の寺社建築」（寺社の文化財Ⅱ）※新刊

○館林市史編さん事業では、『館林市史』全16巻（通史編・特別編・資料編）が完成し、現在は別巻を刊行中です。今後は「寺社の文化財Ⅲ」（仏像と寺社絵画）を刊行予定です。

◇頒布申し込み・問合せ先

館林市教育委員会文化振興課 市史編さんセンター
〒374-0018 群馬県館林市城町2-3（第二資料館内）
TEL・FAX 0276-76-7651
E-mail shishihensan@city.tatebayashi.gunma.jp

<別紙>

『館林市史別巻-館林の寺社建築-』について

1 概要

- ①大きさ B5 判
- ②ページ数 300 ページ（一部カラー）
- ③発行部数 1,200 部（内 600 部は協力者等寄贈用）

2 作成の目的

市史編さん事業による調査を進めるなかで、これまであまり注目されていなかった寺社建築について、館林にも歴史的なものが複数あることが判明しました。そのため、それら歴史的建築の特徴とともに、それに付属する彫刻や天井画についてもまとめました。そして、発見した棟札や、三村家文書、青梅神社文書といった歴史資料についても掲載します。多くの市民が市内に残る寺社建築の歴史的な価値を見直すきっかけになることを願い作成しました。

3 ポイント

◎館林の寺社建築について全市的にまとめた刊行物としては初となります。

これまで市内の寺社の歴史や文化財については館林市史の通史編・資料編や『館林市史別巻-館林の寺社と史料-』（令和2年刊行）、『館林市史別巻-館林の絵馬-』（令和5年刊行）などにまとめてきました。また、『館林市史特別編第7巻-館林の文化と芸術-』でも、一部の寺社建築についてまとめました。しかし、これらは全市的に寺社建築をまとめたものではなく、部分的に扱ったのみでした。今回は寺社建築に特化した館林市初の刊行物であり、これまで知られていなかった歴史的な寺社建築の存在やその特徴を紹介するものです。

◎市内の寺社建築の特徴を技法や城主との関わりなどからまとめています。

市内に残る寺社建築はすべて16世紀以降に建てられたものであり、ほとんどは18世紀後半以降のものであります。その建築的な特徴を、構造・規模・年代からまとめ、一部は図面を掲載しました。特に注目されるのは歴代城主が領内の寺社の造営に関わっていたことが棟札からも新たに分かり、例えば楠木神社には複数の棟札があり、榊原忠次・松平乗寿・徳川綱吉・井上正春・秋元志朝の名が見え、歴代城主が寺社を保護してきた様子が見えてきました。また、上州花輪の彫物師・板橋伊平次の作である常楽寺本堂の龍や、同じく花輪の彫物師・石原常八（三代目）の作である青梅神社拝殿彫刻など、多くの彫物師を輩出した花輪の職人が館林にも関係していたことがわかりました。また、天井画を見ると、市内の多くの絵馬の作者である北尾重光の作があることや、南画家として知られる小室翠雲の作など、天井画には館林にゆかりの深い著名な作者が携わったものがあることを改めてまとめました。

◎宮大工三村家と館林の寺社建築との関係を大きく扱いました。

埼玉県羽生市で代々宮大工を継いできた三村家は、江戸時代に埼玉県内を中心に多くの寺社建築を手がけました。三村家が持っていた古文書は埼玉県立文書館に寄託されていますが、それを調査したところ、館林市内の寺社建築も宮大工三村家が手がけているものがあることがわかりました。そのため本巻では現在も残る三村家が手がけた寺社建築と、三村家の古文書にみえる館林の寺社建築関係の記述についてもまとめ、古文書に残る寺社建築として紹介します（第1部5章/第3部2章）。

三村家が手がけた建築をもつ寺社：青梅神社、富士嶽神社（花山町）、大谷神社、赤城神社（足次町）

4 全体構成と主な内容

◆第1部 寺社建築

第1章 寺社建築の歴史 古代の寺社建築／中世の寺社建築／近世の寺社建築

第2章 館林の寺社建築 館林の近世の寺社建築／館林地域における寺社建築の特徴

第3章 館林の寺院建築（13寺5堂）

〈掲載寺院〉法輪寺・覚応寺・観性寺・善導寺・法泉寺・龍泉寺毘沙門堂・普濟寺・遍照寺・茂林寺・常楽寺・雲龍寺・宝生寺・龍興寺・深諦寺・薬師堂（当郷町）・明善寺薬師堂・観音堂（大島町）・薬師堂（傍示塚町）

第4章 館林の神社建築（52社）

〈主な掲載神社〉愛宕神社・稲荷神社〈正田醤油地内〉・尾曳稲荷神社・長良神社（代官町）・八幡宮・熊野神社（千塚町）・大島神社・十二社神社・菅原神社〈天満宮〉（大島町）・楠木神社・駒方神社・長良神社（赤生田本町）・子神社・八坂神社・富士嶽神社（富士原町）・菅原神社（入ヶ谷町）・長良神社（野辺町）・雷電神社（上三林町）・大山祇神社（高根町）・長良神社（岡野町）・雷電神社（上早川田町）ほか

第5章 宮大工三村家と館林の神社建築（4社）

〈掲載神社〉青梅神社・富士嶽神社（花山町）・大谷神社（成島町）・赤城神社（足次町）

◆第2部 寺社彫刻と天井画

第1章 館林の寺社彫刻 寺社建築と彫刻／各部の彫刻の特徴／彫物の技法／館林の寺社彫刻の特徴

第2章 館林の寺社の天井画（12寺社） 寺社天井画の特徴と絵師／写真で見る天井画

◆第3部 寺社建築の記録資料

第1章 棟札 寺院の棟札（8寺5堂）／神社の棟札（18社）／記録のなかの棟札の写（3社）

第2章 寺社建築に関わる史料 宮大工三村家文書にみる館林の寺社（11点）／青梅神社文書にみる建築記録（12点）

5 その他

①執筆者

工学院大学総合研究所教授 後藤 治/恵建築設計事務所 小島恵理子/ものづくり大学
技能工芸学部建設学科助教 奥崎 優/館林市史専門委員会の専門委員・調査員5名

②頒布の内容

(1)頒布価格 1冊 2,000円

(2)頒布開始 令和8年1月15日（木）より

(3)頒布部数 600部 （別に600部が協力者寄贈用）

(4)頒布場所 市内公共機関…市史編さんセンター（第二資料館内）・文化会館・第一資料館・
図書館・向井千秋記念子ども科学館・田山花袋記念文学館・市内各公民館・
群馬県立館林美術館ミュージアムショップ
市内書店…宮脇書店アゼリア店

※遠隔地の方は郵便振替による購入が可能。電話・FAX・Eメールで受け付ける。

※頒布申し込み・問合せ先

館林市教育委員会文化振興課 市史編さんセンター
〒374-0018 群馬県館林市城町2-3（第二資料館内）
TEL・FAX 0276-76-7651 / E-mail shishihensan@city.tatebayashi.gunma.jp